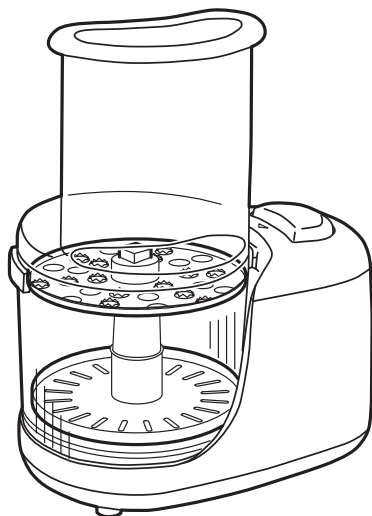


- 業務用としてご使用にならないでください。
- 他の用途でご使用にならないでください。
思わぬ事故の原因になります。

電動大根おろし器

YFB-D251



も く じ

安全上のご注意	1～3
各部の名称	4
ご使用の前に	5
使いかた	5～8
お手入れと保管	8～9
仕 様	9
故障かな?と思ったら	10
アフターサービスについて	10
保証書	裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- このたびは、弊社電動大根おろし器をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
- ご使用の前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- お読みになったあとは、大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。



警告



禁止

交流100V以外での使用、コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない

●延長コードやタコ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えると発熱・火災の原因になります。



分解禁止

分解、修理、改造をしない

●けが・感電・火災の原因になります。
※修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

●ショート・感電・火災の原因になります。



指示に従う

電源プラグは、根元まで確実に差し込む

●発煙・感電・火災の原因になります。



プラグを抜く

使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く

●けが・感電・漏電・火災の原因になります。



指示に従う

定期的に電源プラグのほこりをふき取る

●電源プラグにほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、ショート・火災の原因になります。

◎電源プラグのほこりは、乾いたふきんでふき取る。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

●感電の原因になります。



指示に従う

異臭、異常、破損、故障があるときは直ちに使用を中止する

●けが・感電・火災の原因になります。

※異常・故障例

10ページの「点検のお願い こんな症状はありませんか?」を参照し、異常がある場合は、直ちにご使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。



禁止

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり引っ張ったり、たばねて使用しない

●ショート・感電・火災の原因になります。

◎結束バンドは必ずはずす。



禁止






電源コードの上に重いものや本体をのせたり、挟み込まない

●電源コードが破損し、ショート・感電・火災の原因になります。

警告

 <p>容器やふたの取りつけや取りはずし お手入れのときは、必ず電源プラグ をコンセントから抜く ●けが・感電の原因になります。</p>	 <p>安全スイッチを指や細い棒などで 押さない ●不意に動作して、故障・けがの原因に なります。</p>
 <p>すき間や開口部にピンや針金などの 異物を入れない ●故障・感電の原因になります。</p>	 <p>おろしカッターを露出したまま運転 しない ●回転中のおろしカッターは、危険 なので絶対に触れない ●けがの原因になります。</p>
 <p>おろしカッターの刃は、鋭利なので 直接手で触れない ●けがの原因になります。</p>	 <p>運転中にふたや容器の取りはずしを しない ●食材がこぼれたり、故障・けがの原因に なります。</p>
 <p>食材を調理する以外の目的で使用 しない ●故障・けがの原因になります。</p>	 <p>投入口やおろしカッターの上に残った 食材を取り出すときやお手入れの ときは、おろしカッターの刃に注意する ●けがの原因になります。</p>
 <p>本製品は大根おろし、すりおろし リング専用です 大根、リンゴ以外の食材は調理しない ●故障・けがの原因になります。</p>	 <p>運転が完全に停止するまでは、投入口 や容器の中に指、スプーン、箸など 食材以外のものを入れない ●故障・けがの原因になります。</p>
 <p>お子さまや取り扱いに不慣れな方 だけで使用しない 乳幼児の手の届く場所で使用したり 保管しない ●けが・感電の原因になります。</p>	 <p>包装用ポリ袋は、お子さまの手の 届かない場所に保管する ●誤って顔にかぶついたり、巻きついたりして 窒息する原因になります。</p>
 <p>本体を水に入れたり、水をかけたり 丸洗いをしない ●故障・ショート・感電の原因になります。</p>	

注意

 <p>運転が完全に停止したのを確認して から電源プラグを抜き差しする ●故障・けがの原因になります。</p>	 <p>電源コードを引っ張って電源プラグ を抜かない ●ショート・感電・発火の原因になります。 ◎必ず電源プラグを持って引き抜く。</p>
 <p>定格時間3分以上の連続運転は おこなわない 続けて運転する場合は、必ず20分 以上休ませてから運転する (3分運転ごとに20分以上休止) ●故障の原因になります。</p>	 <p>電源コードを持って本体を引っ張ら ない ●設置場所が傷ついたり、ショート・ 感電・発火の原因になります。</p>
	 <p>業務用に使用しない (本製品は一般家庭用) ●本製品に無理な負担がかかり、破損・ 故障の原因になります。</p>

⚠ 注意



禁止

次のような場所で使用しない

- 変質・変形・発火の原因になります。
- 火気(コンロやストーブ)など熱源の近くや直射日光のあたる所
- 高温(40℃以上)になる所
- 厨房や工場などの油や油煙が発生する所
- ほこりや金属粉の多い所
- 灯油、ガソリン、シンナー、ベンジン塗料などの引火性のものがある所



禁止

回転軸を指で押したり、曲げたりしない

- 故障・けがの原因になります。



指示に従う

容器やふたは確実に取りつけ、容器を手でしっかり支えて運転する

- 故障・けがの原因になります。



禁止

容器やふたを取りつけていない状態で運転しない

- 故障・けがの原因になります。
- ◎容器やふたを確実に取りつけ、食材を入れてから運転する。



禁止

食材をおろすときは、必要以上の力で押込棒を押し込まない

- 変形・故障の原因になります。



禁止

押込棒以外のもので食材を押し込まない

- 故障・けがの原因になります。



指示に従う

持ち運ぶときは、本体と容器をしっかりとっておこなう

- 破損・故障・けがの原因になります。
- ◎運転中は持ち運ばない。



禁止

容器やふたを電子レンジ、オーブンレンジ、食器洗い乾燥機で使用しない
40℃以上のお湯で洗わない

- 変形・破損・やけどの原因になります。



禁止

掃除用、整髪用、殺虫剤などのスプレーを吹きつけない

- 変色・変質・破損の原因になります。



指示に従う

安定した水平な場所で使用する

- 落下や転倒して、破損・故障・けがの原因になります。



水ぬれ禁止

水しぶきや蒸気が直接本体にかかる場所、湿気の多い場所で使用しない

- 故障・ショート・感電の原因になります。



禁止

40℃以上の食材を入れない

- 変色・変形・破損の原因になります。



禁止

カラ運転や極端に少ない食材で運転しない

- 故障・けがの原因になります。



禁止

最大調理容量を超える量の食材を入れて運転しない

- 食材があふれたり、故障の原因になります。
- ◎最大調理容量は、5～6ページの「大根/リンゴの下準備」を参照する。



指示に従う

容器から調理物を取り出すときは付属品のスプーンを使用して取り出す

- けがの原因になります。



指示に従う

食材が多すぎるなどで、うなるような運転音が出たり、おろしカッターの回転が遅かったり、止まったときは直ちに運転を停止する

- 故障・けがの原因になります。



指示に従う

落としたり、強い衝撃を与えない

- 破損・故障・けがの原因になります。



禁止

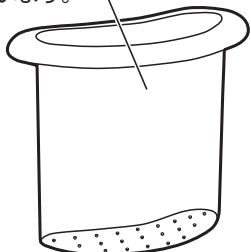
お手入れには、シンナー、ベンジンみがき粉、たわし、化学ぞうきんなどは使用しない

- 変色・変質・破損の原因になります。
- ◎お手入れは8～9ページの「お手入れと保管」を参照する。

各部の名称

押込棒

- 食材を押し込むときに使います。



投入口

- ここに食材を入れます。

ふた
▲マーク
(合わせマーク)

ふた

軸

安全スイッチ

- 容器やふたが本体に正しく取り付けられていないと運転スイッチを押しても運転しません。

▲注意



- 回転軸を指で押したり、曲げたりしない
- 故障・けがの原因になります。

※回転軸が曲がったり、傾いたりするとおろしカッターの回転がバランスをくずし、容器破損やけがの原因になります。

■付属品

スプーン… 1個

- でき上がった調理物を取り出すときに使います。



カッター軸 差し込み部



おろしカッター

▲警告



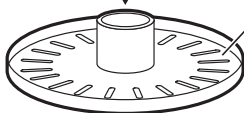
- おろしカッターの刃は、鋭利なので直接手で触れない
- けがの原因になります。

カッター軸中央部穴

- ふたの軸を差し込む穴です。

カッター軸

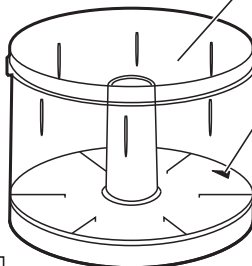
- 軸の先が四角い方が上向き丸い方が下向きになるように取りつけます。



汁切りプレート

- 大根おろしとおろし汁を分けるときに使用します。

容器



容器▲マーク
(合わせマーク)

本体▲マーク
(合わせマーク)

運転スイッチ

- 押ししている間だけおろしカッターが回転します。

回転軸

本体



電源コード

▲警告



- 電源コードの上に重いものや本体をのせたり、挟み込まない
- 電源コードが破損し、ショート・感電・火災の原因になります。



電源プラグ

ご使用の前に

※はじめてご使用になるときは、8～9ページの「お手入れと保管」を参照して各部品を水洗いしてください。

必ずお守りください

※大根、リンゴ以外の食材は調理しないでください。

※大豆などの固い食材、じねんじょなどの粘りけの強い食材は、絶対に調理しないでください。

警告



本製品は大根おろし、すりおろしリンゴ専用です
大根、リンゴ以外の食材は調理しない
●故障・けがの原因になります。

安全スイッチについて

■本製品には安全スイッチが設けてあります

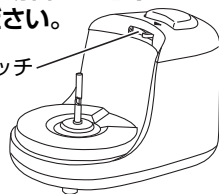
※危険防止のため、容器やふたが正しく取り付けられていないと運転できない構造になっています。ふたの閉まりかたが不十分などで運転しない場合は、電源プラグを抜いて容器やふたが正しく取り付けられているか確認してください。

警告



安全スイッチを指や細い棒などで押さない
●不意に動作して、故障・けがの原因になります。

安全スイッチ



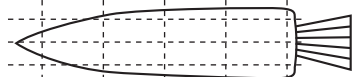
使いかた

大根 / リンゴの下準備

■大根の場合

カットのしかた

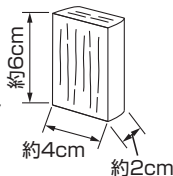
●大根の皮をむき、下図のように繊維方向にそってカットします。



●幅約4cm×高さ約6cm×厚み約2cm(約50g)にカットします。

(一回に投入できる大根の大きさです)

※できる限り正確に計ってカットしてください。




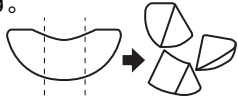
	最大調理容量の目安	運転時間の目安
汁切りプレート有りの場合	カットした大根2個分(約100g) ●100g以上おろすと大根の汁が汁切りプレートを超え、汁気の多い大根おろしになります。	約10秒
汁切りプレート無しの場合	カットした大根5個分(約250g)	約25秒

ワンポイントアドバイス

※焼いたさんまに大根おろしをそえる場合、1尾につきしぼった大根おろし約40gが目安になります。大根おろしの分量はお好みに合わせてください。

使いかた

■リンゴの場合

カットのしかた	
<ul style="list-style-type: none"> ●リンゴの皮をむき縦方向に8等分して芯を取ります。  <p>上から見た図</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●8等分したリンゴを下図のようにさらに3等分にカットします。 ※一回に投入できるリンゴの量は投入口の約半分を目安にしてください。 

最大調理容量の目安	運転時間の目安
カットしたリンゴ約250g	約25秒

ご使用上の注意

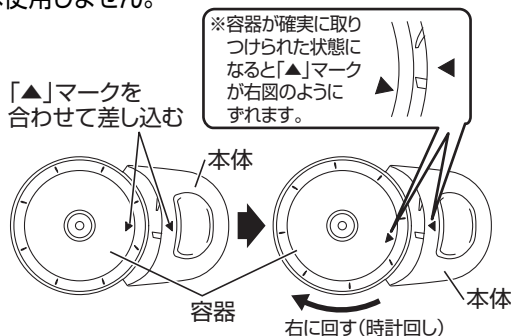
- ※リンゴは種類によって、果肉の固さが違います。必ず果肉の柔らかいリンゴを使用してください。故障の原因になります。
- ※リンゴは上図のようにカットし、投入口に入らない場合は、さらに小さくカットしてください。
- ※カットしたリンゴは投入口の約半分までを目安に入れてください。

大根おろし / すりおろしリンゴの作りかた

- 作りかたのイラストは大根おろしで説明していますが、すりおろしリンゴも同様の作りかたです。
- すりおろしリンゴの場合、汁切りプレートは使用しません。

1 本体に容器を取りつける

- 本体を手でしっかり支え、容器底面の「▲」マークと本体の「▲」マークの位置を合わせながら容器を本体に差し込み、右に回して(時計回し)確実に取りつけます。

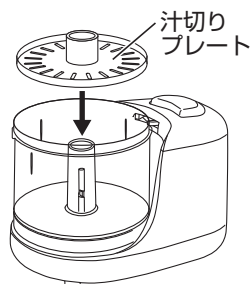


2 汁切りプレートを取りつける(大根おろしのときに使用)

- 汁切りプレートを容器の中に入れます。

汁切りプレートについて

- 汁切りプレートはお好みでご使用ください
- 汁切りプレートは大根おろしとおろし汁を分けるときに使用するものです。
- 汁気の多い大根おろしを召し上がる場合 ▶ 汁切りプレートは使用しません
- 汁気の少ない大根おろしを召し上がる場合 ▶ 汁切りプレートを使用します
- ※汁切りプレートを使用しても大根おろしをしぼったように、汁気を完全に分離することはできません。



使いかた

3 カッター軸とおろしカッターを取りつける

- 1 回転軸にカッター軸を差し込み、回転軸とカッター軸をかみ合わせます。(カッター軸をつまんで軽く左右に回して、カッター軸が回転しなければかみ合っています)
- 2 おろしカッターは、刃(目立て)が上になるようにカッター軸に差し込みます。

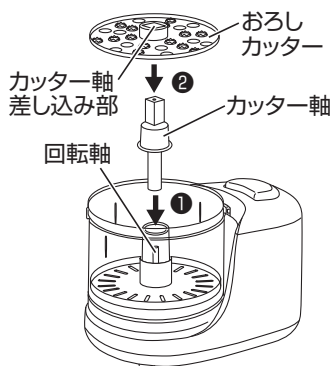
警告



おろしカッターの刃は、鋭利なので直接手で触れない
●けがの原因になります。

接触禁止

※おろしカッターを持つときは、必ず差し込み部または外周部を持ってください。



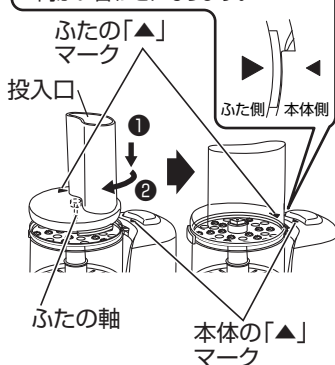
4 ふたを取りつける

- 1 投入口が運転スイッチ側に向くようにして、ふたの軸をカッター軸中央の穴に差し込み、ふたを取りつけます。
- 2 容器を手でしっかり支え、ふたの「▲」マークと本体の「▲」マークが合うまでふたを右に回して(時計回し)確実に取りつけます。

お知らせ

- カッター軸などが正しく取り付けられていないとふたが正しく取り付けられません。
- ふたが確実に取り付けられていないと「安全スイッチ」が働いて、運転スイッチを押しても運転しません。

※ふたが確実に取り付けられた状態になると「▲」マークが下図のように向かい合わせになります。



5 食材を投入口に入れる

- カットした食材を投入口に入れます。(カットのしかたなどは、5~6ページの「大根/リンゴの下準備」を参照)

ご使用上の注意

- ※食材は、投入口より飛び出さないようにしてください。
- ※固い食材、粘りけの強い食材は、入れないでください。
- ※1回に投入できる大きさを超える食材は、入れないでください。



6 電源コードの結束バンドを必ずはずし、電源プラグをコンセントに差し込む

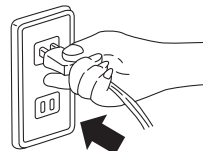
- 電源プラグを根元まで確実にコンセントに差し込みます。
- ※運転スイッチを押した状態で電源プラグをコンセントに差し込まないでください。おろしカッターが回転してけがの原因になります。

警告



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
●感電の原因になります。

ぬれ手禁止



使いかた

7 食材を押込棒で押し込みながら運転スイッチを押す

- 押込棒は必要以上に力を入れず、軽く押し込みます。
- 運転スイッチを押している間だけ、おろしカッターが回転します。
- ※ 食材が多すぎるなどでカッターの回転が遅かったり、動作しないときはすぐに運転を停止させ、食材を減らしてください。

⚠ 注意



定格時間3分以上の連続運転はおこなわない
続けて運転する場合は、必ず20分以上休ませてから
運転する
(3分運転ごとに20分以上休止)
● 故障の原因になります。



8 調理が終わったら電源プラグをコンセントから抜き、ふたや容器を取りはずす

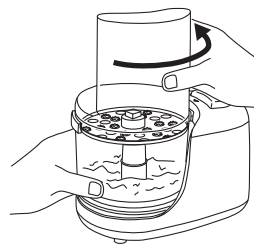
- 運転が完全に停止したのを確認し、電源プラグをコンセントから抜いて取りつけと逆の順序で取りはずします。
- ※ ふたを容器から取りはずすときは、手で容器をしっかり支えふたを左に回して(反時計回し)取りはずしてください。
- ※ でき上がった調理物は、付属品のスプーンを使用して取り出してください。
- ※ 連続して調理する場合は、おろしカッターの上におろしきれない食材が少量残りますので、ふたを取りはずして残った食材を取り除いてから調理してください。

⚠ 警告



投入口やおろしカッターの上に残った食材を取り出すときや
お手入れのときは、おろしカッターの刃に注意する
● けがの原因になります。

ふたを取りはずすときは
容器をしっかり支える



お手入れと保管

お手入れや持ち運ぶときは、電源プラグをコンセントから抜いておこないます。
大根おろし器は、食品に触れる調理器具のため、いつも清潔な状態で使用します。

※ ご使用後は、必ずお手入れをおこなってください。

お手入れのときは、けがなどを防止するためゴム手袋などを着用しておこなってください。

⚠ 警告



容器やふたの取り付けや取りはずし、お手入れの
ときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
プラグを抜く ● けが・感電の原因になります。



本体を水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない
● 故障・ショート・感電の原因になります。

水ぬれ禁止



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
● 感電の原因になります。

ぬれ手禁止



おろしカッターの刃は、鋭利なので直接手で触れない
● けがの原因になります。

接触禁止

お手入れと保管

⚠ 注意



容器やふたを電子レンジ、オーブンレンジ、食器洗い乾燥機で使用しない
40℃以上のお湯で洗わない

禁止 ●変形・破損・やけどの原因になります。



掃除用、整髪用、殺虫剤などのスプレーを
吹きつけない

禁止 ●変色・変質・破損の原因になります。



お手入れには、シンナー、ベンジン、みがき粉
たわし、化学ぞうきんなどは使用しない

禁止 ●変色・変質・破損の原因になります。

■本体 ※丸洗いは絶対しない

- 水に浸した柔らかいふきんをよくしぼって汚れをふき取ります。
- 落ちにくい汚れは、水ですすめた食器用中性洗剤に柔らかいふきんを浸し、よくしぼってからふき取ります。さらに乾いた柔らかいふきんで洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。

■ふた、容器、押込棒、汁切りプレート、カッター軸、スプーン ※丸洗いでできます

- 食器用中性洗剤を柔らかいスポンジに含ませて水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流し、乾いた柔らかいふきんで水分をふき取って乾燥させます。

■おろしカッター ※丸洗いでできます

※おろしカッターをお手入れするときは、けがをするおそれがありますので十分注意してください。

※おろしカッターを持つときは、必ず差し込み部または外周部を持ってください。

- 食器用中性洗剤をブラシに数滴つけて水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流し、乾燥させます。

※サビの発生を防ぐためによく乾燥させてください。

■保 管

- 保管の前は、必ずお手入れをします。
- お手入れしたあとよく乾燥させ、おろしカッターに食用油を薄く塗ってから包装ケースに納めるかポリ袋をかぶせ、直射日光や湿気を避けて保管します。
(湿ったまま保管するとカビの発生や異臭・故障の原因になります)

仕 様

電 源	交流100V 50-60Hz共用
消 費 電 力	80W
定 格 時 間	3分(3分使用ごとに20分以上休止)
製 品 寸 法(約)	幅:185mm × 奥行:110mm × 高さ:220mm
製 品 質 量(約)	0.9kg
コ ー ド 長(約)	1.2m
最 大 調 理 容 量(約)	250g(大根/リンゴ) ※指定サイズにカットしたもの
安 全 装 置	電流ヒューズ、安全スイッチ

●製品の仕様や外観などは、改善などのため予告なく変更する場合があります。

故障かな?と思ったら 次の点検をおこなってください。

症 状	原 因	処 置
運転しない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか?	●電源プラグをコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
	●容器やふたが確実に取りつけられていますか?	●安全スイッチが働いています。容器やふたを確実に取りつけてください。
運転しているときに ●おろしカッターの回転が遅い ●うなり音がする ●振動が大きい ●運転が止まる	●食材を入れすぎていませんか?	●量を減らしてください。
	●食材が大きすぎませんか?	●小さく切り直してください。
	●食材がおろしカッターに引っかかっていませんか?	●おろしカッターに引っかかった食材を取り除いてください。
	●回転軸が曲がっていませんか?	●お買い上げの販売店に、点検・修理をご相談ください。

点検のお願い

安全に長くご愛用いただくために、日頃から点検をおこなってください。

★こんな症状はありませんか?

- 電源コード、電源プラグが異常に熱い。
 - 電源コード、電源プラグに深い傷や変形がある。
 - 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
 - こげくさいにおいがする。
 - 器具に触れるとビリビリと電気を感じる。
 - その他の異常や故障がある。
- 電源プラグやコンセントにほこりやごみがたまっている。

★異常があれば

ご使用中止!

故障や事故防止のため、運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

ほこりやごみを取り除いてください。

アフターサービスについて

- この製品は保証書がついております。お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年です。保証期間中の修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。保証書の記載内容により修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理(有料)についてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後5年です。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
- サービスパーツについては、お買い上げの販売店にご相談ください。


■使いかたやお手入れなどのご相談は下記へ

この製品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、右記までご相談ください。

●FAXまたはEメールでのご相談も受け付けております。その際は商品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入のうえ、ご相談ください。

「山善 家電お客様サービス係」
ダイヤル  **0570-077-078**

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。受付時間：10：00～17：00（土・日・祝日を除く）

●FAXでの  **0120-680-287**

●Eメールでの  **info_m@yamazen.co.jp**

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社はお客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合は正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせのときは、保証書に記載の商品名・品番をご連絡ください。

J-181115